

（１）学級や学校における生活づくりへの参画

議題名（×） → 議題（○）

令和 年 月 日（ ）第 校時
第 学年 組 指導者 ○○ ○○

1 議題 ○○○をしよう

○1単位時間ごとに「評価規準」を作成せず、学校で作成（小学校は低・中・高学年別に作成）したものをそのまま掲載する。計画委員、話し合い、集会活動の形態別に示すことも考えられる。

2 評価規準と目指す児童（生徒）の姿

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決する。他者と協働して取り組むこと。協働性を理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活を良くするための課題を見いだすことができる。課題解決に向け、話し合い、多様な方法を生かして合意形成を図り、協働している。	学級や学校人間における関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の高揚を図ろうとしている。
目指す姿	<p>○学習指導要領の目標及び特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、各学校が特別活動共通の評価の観点（_____の部分）を定める。</p> <p>○学級活動（１）の評価規準〔学校として見定めた評価の観点ごとに、発達の段階に即して設定した評価規準〕を踏まえ、本議題のねらい、内容、学級の実態に即して、十分満足できる活動の状況を、「目指す児童（生徒）の姿」として記述する。丁寧に「計画委員」、「話し合い」、「集会活動」などに分けて記述することも考えられる。</p> <p>○「目指す児童（生徒）の姿」は、観点ごとに記述する。事前、本時、事後の活動全体を通して、各観点をバランスよく設定することが望ましいが、必ずしも本時の中で全ての観点を評価する必要はない。例えば、事前で「主体的態度」を、本時で「知識・技能」と「思考・判断・表現」を、事後に「思考・判断・表現」と「主体的態度」を中心に評価することも考えられる。</p>		

【参照】

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(小学校・中学校 特別活動 R2.6) 国研

「新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料(小学校 R2.7・中学校 R3.1)」 県教委

3 議題について

- 児童（生徒）自らが「学級や学校の生活づくり」について問題を見だし、計画・実践する実践的態度についての現状を記述する。
- 議題が選定された背景や、この議題を学級全体が取り組むことで学級や学校生活がどのように向上し、児童（生徒）一人一人にどのような態度が身に付くことが期待できるかについて、教師の願いや指導観等を記述する。

（１）児童（生徒）の実態

- 児童（生徒）の学級生活における実態、これまでの学級活動の取組やその状況を具体的に記述する。
- 当該学年の評価規準から、話し合い活動における課題や目指す方向性などについて記述する。

（２）議題選定の理由

- 取り上げる議題の内容、今まで取り組んできたこととの関連、その議題を取り上げる意義、議題と児童（生徒）との関連などについて具体的に記述する。
- 評価との関わり（それまでの話し合い活動の取組、本時の活動を見取る観点など）について記述する。

（３）指導観

- 議題のねらいや児童（生徒）の実態を踏まえながら、ねらいを達成するための指導や支援の手立てなどについて、指導の流れに沿って具体的に記述する。
- 議題やねらい、活動に応じて、教材・教具、資料の選択、グループ活動や事前・本時・事後の活動、様々な表現の場づくりなどを具体的に示すような記述に努める。

4 学校課題(研究主題)との関連

○学校課題と関連がある場合は、学校課題(研究主題)に迫るための授業の組立や指導の重点、具体的な手立てなどを議題レベルでまとめる。

5 人権教育の視点

○本時のねらいや学習内容、指導方法と「育てたい資質・能力等」との関わりを記述する。

6 生かしたい児童(生徒)

○学習指導案参考例 P.33 の8(5)。

7 他の教育活動との関連

○特に関連のある教育活動や体験活動、日常生活との関連について記述する。

8 活動及び指導と評価の計画

○本時だけでなく、事前、事後の活動も記述する。

※参照：芳賀の教育 HP版 Q&A集 特別活動 H23

Q4「学級活動の1単位時間の指導計画(学習指導案)を作成する際に、どのようなことに留意すればよいか。」

※基本的な流れや考え方は同じだが、旧学習指導要領の文言が使われている点に要注意。

	日時 【活動形態】	児童(生徒)の活動	指導上の留意点	目指す児童(生徒)の姿 と評価方法
		○以下のような「問題の発見」から「振り返り」までの全員の活動や準備委員会の活動について記述する。	○以下のように、児童(生徒)が左の活動を行う上で、何をどのように工夫したり配慮したりするかなどを記述する。 ○指導者の立場で書く。 ○準備物や具体的な手立てを記述する。	○評価規準に即して、一連の展開における「目指す児童(生徒)の姿」を示しておく。 ○事前・本時・事後の活動の中で、どのように目指す児童(生徒)像が位置付けられているかが分かるように記述する。 ○以下のような評価の例が考えられる。
	○「朝や帰りの会など、どの時間で行う予定か」(日時)や「計画委員の活動か全員の活動か」(活動形態)なども記述			
事前	話し合いの準備 ○/○(○) (昼休み) 【計画委員会】	・生活向上に関わる諸問題を見付け、提案をする。 ・実態、学級経営の充実などの観点から議題を選定する。 ・議題や提案理由を知って、各自が意見をもつ。 ・話し合いの柱や順番などを見定め、活動計画を作成する。	○事前や事後の活動については、回数(日時)に応じて区切り線を入れそれぞれ記述する。	【主体的態度】 ・○○○○の会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【観察、学級会ノート】
本時	話し合い ○/○(○) (第○校時) 【学級全員】	【学級活動(1)】 [集団討議による 集団としての合意形成]	※「(2)本時の展開」参照	※「(2)本時の展開」参照 ○太線で囲むなどして、本時の位置付けを明確にする。
事後	実行 ○/○(○) (第○校時) 【学級全員】	・グループごと、または役割分担に従ってに準備をする。 ・集会活動を行う。	・○○の児童(生徒)には、○○の助言や励ましを行い、よりよく実行できるようにする。	【思考・判断・表現】 ・合意形成したことをもとにみんなで協力し、責任を果たして計画的に活動している。 【観察・努力カード】
	振り返り ○/○(○) (第○校時) 【学級全員】	・学級全体や個人としてよかったこと、改善点などについて話し合い、次の活動に生かす点を明らかにする。	・○○の視点を与え、よかった点と問題を次に生かす点を明らかにすることができるようになる。	【主体的態度】 ・自他のがんばりや問題について考え、次に生かす点を明らかにしている。 【観察・振り返りカード】

9 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 提案理由を踏まえた話し合いを展開するために本時の活動で特に留意する点を考え、簡潔に記述する。
- 観点別に、一つないし二つ程度のねらいを記述する。
- 評価規準・本時における目指す児童(生徒)の姿との関連を図り記述する。

(2) 本時の展開

- 本時の展開は、実態に応じて児童(生徒)が作成した活動計画(手書き)をそのまま活用してもよい。
- 教師が作成した指導計画を示す場合は、「児童(生徒)が作成した活動計画」を、別に添付するとよい。
- 展開や指導上の留意点を読んで児童(生徒)の活動が把握できるように、できるだけ具体的に記述する。
- 指導上の留意点に教師の指導・支援を記述する。その際、児童(生徒)の学習活動への働きかけやその手立て、助言などを具体的に記述する。
- 特に支援したい児童(生徒)については、「6 生かしたい児童(生徒)」との整合性を図り、具体的な手立てをして指導・支援ができるよう記述する。
- 評価は、評価規準に即して、本時の展開における「目指す児童(生徒)の姿」を示しておく。

○児童(生徒)が作成した活動計画(例)
○次ページ「※2 児童の活動計画(例)(児童の考えた活動計画)」参照。

第 回 学級活動(話し合い)の計画

令和 年 月 日 () 第 校時

議題	〇〇〇をしよう	
提案理由	※教師とともにつくった提案について書く。	
役割分担	※司会、黒板記録、ノート記録、提案者などの児童(生徒)名を記入する。 (一般的に、中学校では、議長、黒板書記、ノート書記という名称を使っている。)	
話し合いの順序	時間	気を付けること
1 はじめのことば		
2 計画委員の紹介		
3 議題・提案理由の確認		
4 話し合い		
①〇〇をどうするか		
②〇〇を決めよう		
5 決まったことの発表		
6 先生の話		
7 おわりのことば		

○次ページ「※1 板書計画(例)(児童の考えた板書計画)」参照。

- 計画委員の児童(生徒)が、進行に即して気を付けることを記述する。あらかじめ「学級活動(話し合い)の計画」の様式を決め印刷しておき、児童(生徒)が書き込めるようにしておくことよい。
- 児童(生徒)が作成した活動計画を使用する場合には、教師の「指導上の留意点」が記述されていないため、(3)として新たに項立てをして別に記述することになる。

○教師が作成した指導計画(例)
○項立てについては、児童(生徒)が作成した活動計画に「指導上の留意点」「目指す児童(生徒)の姿と評価方法」を組み合わせることも考えられる。

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童(生徒)の姿と評価方法
1 はじめのことば		
2 計画委員の紹介		
3 議題の確認		
4 話し合い		
①〇〇をどうするか。		
②〇〇を決めよう。		
5 決まったことの発表		
6 先生の話		
7 おわりのことば		

- 「(2) 本時の展開」において「教師が作成した指導計画」を示す場合、「指導上の留意点」は、話し合い(「出し合う」→「くらべ合う」→「まとめる(決める)」)の流れに即して、丁寧に示すことも考えられる。
- 教師が、児童(生徒)の実態を踏まえ、活動を見守りながらも、よりスムーズに深まりのある話し合いができるようになるための助言などを記述しておく。

- 評価規準に即して、本時の展開における「目指す児童(生徒)の姿」を示しておく。
- 「十分満足できる活動の状況」を的確に見取るため、具体的な児童(生徒)の姿をいくつか想定しておくようにする。

(3) 指導上の留意点

○「(2) 本時の展開」において「児童(生徒)が作成した活動計画」のみを活用する場合は、(3)として「指導上の留意点」を新たに項立てして記述する。その際、「教師が作成した指導計画」を「(3) 指導上の留意点」として丁寧に示すことも考えられる。

- ・〇〇状況(場面では)になったら、〇〇の助言をする。(収束の道筋に即した助言等)
- ・〇〇の児童(生徒)には、〇〇の指導をする。(個に応じた助言等)

10 事後指導

- ・見通しをもった計画的な活動、継続的な努力、役割や責任を果たすこと、よりよい人間関係を築くことなどができるようにするために〇〇〇〇をする。など
- ・振り返りを通して成果が実感できるようにし、「自分(たち)もやればできる」という達成感が味わえるようにする。など

※1 板書計画例 (児童の考えた板書計画※手書き)

<p>・決まったこと</p>	<p>役割分担を決めよう</p>	<p>・話し合うこと3</p>	<p>どんな工夫ができるか</p>	<p>・話し合うこと2</p>	<p>意見を「出し合う」 出された意見を「くらべ合う」 意見を「まとめる(決める)」 この活動が、話し合いの流れの基本。</p>	<p>・話し合うこと1 内容をどうするか</p>	<p>話し合いのめあて</p> <p>○みんながなつとくできる話し合いにしよう ○みんなのがんばりが分かる会になるように工夫を考えよう</p>	<p>提案理由</p> <p>.....</p>	<p>議題</p> <p>五年生ががんばったね会をしよう</p>	<p>第9回 学級会</p> <p>10月12日 火曜 日直</p>
<p>※意見や話し合いの流れを可視化するために、小黑板や短冊などを用い、似ている意見でまとめたり、分類したりするなど、黑板上で操作できるように工夫するとよい。</p>										

- ・賛成は黄色のチョークと青のマグネット、消すものは赤のチョークで線を引く、反対は赤色チョークと赤のマグネット、決定したことは青色のチョークで囲む、というように色分けして可視化することも考えられる。
- ・賛成マークや決定マーク、学習の流れを捉えさせる矢印マークなども有効に活用できる。

※2 児童の活動計画例 (児童の考えた活動計画 ※手書き)

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ぎだい</td> <td colspan="3">ハッピーパーティーをしよう。 11月20日(金) 2時間目</td> </tr> <tr> <td>ていあんりゆう</td> <td>12月に、みんなと楽しい思い出をつくりたいと思ったから</td> <td>ていあんしゃ</td> <td>さん</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">やくわりぶんとん</td> <td>し会</td> <td>こくばん記ろく</td> <td>ノート記ろく</td> </tr> <tr> <td>さん</td> <td>さん</td> <td>さん</td> </tr> <tr> <td>きまつていること</td> <td colspan="3">日じ : 12月4日 ばしょ: 教室 かつどうの数: 3つ (みんなのできること)</td> </tr> <tr> <td>はなしあいの</td> <td>じゅんじよ</td> <td colspan="2">気をつけること</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>はじめのことば</td> <td colspan="2">・いろいろな人がはっぴょうできるようにする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>やくわりしようかい</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ぎだいのかくにん</td> <td colspan="2">・いけんが出ないときは</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ていあんりゆうのはっぴょう</td> <td colspan="2">けいかくいんの人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>はなしあい</td> <td colspan="2">はっぴょうする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はしら① (20分)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>みんなが楽しめるために、何をするか。</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>はしら② (15分)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>どんなかかりがいるか。</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>きまつたことのはっぴょう</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>はなしあいのふりかえり</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>先生のはなし</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>おわりのことば</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	ぎだい	ハッピーパーティーをしよう。 11月20日(金) 2時間目			ていあんりゆう	12月に、みんなと楽しい思い出をつくりたいと思ったから	ていあんしゃ	さん	やくわりぶんとん	し会	こくばん記ろく	ノート記ろく	さん	さん	さん	きまつていること	日じ : 12月4日 ばしょ: 教室 かつどうの数: 3つ (みんなのできること)			はなしあいの	じゅんじよ	気をつけること		1	はじめのことば	・いろいろな人がはっぴょうできるようにする。		2	やくわりしようかい			3	ぎだいのかくにん	・いけんが出ないときは		4	ていあんりゆうのはっぴょう	けいかくいんの人		5	はなしあい	はっぴょうする。			はしら① (20分)				みんなが楽しめるために、何をするか。				はしら② (15分)				どんなかかりがいるか。			6	きまつたことのはっぴょう			7	はなしあいのふりかえり			8	先生のはなし			9	おわりのことば			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">第3回 5年2組 学級会 9月14日(水)</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;">議題</td> <td colspan="3">クラスの出し物を考えよう。</td> </tr> <tr> <td>提案理由 (提案者)</td> <td colspan="3">クラスがもっと一致団結できるように。()</td> </tr> <tr> <td>司会</td> <td colspan="3">・司会をする。</td> </tr> <tr> <td>副司会</td> <td colspan="3">・司会を助ける。 ・進行状況をチェックする。</td> </tr> <tr> <td>黑板書記</td> <td colspan="3">・黑板に記録する。 ・決まったことの色分け。</td> </tr> <tr> <td>ノート書記</td> <td colspan="3">・板書事項をノートする。 ・決まったことを発表する。</td> </tr> <tr> <td>話し合いの流れ</td> <td>担当者</td> <td>時間</td> <td>気をつけること</td> </tr> <tr> <td>① 始めの言葉</td> <td>司会</td> <td>10秒</td> <td>かまないで、はっきりはきはき言う。</td> </tr> <tr> <td>② 歌・ゲーム</td> <td></td> <td>5分</td> <td>UFOゲーム</td> </tr> <tr> <td>③ 議題の確認</td> <td>司会</td> <td>20秒</td> <td>考えるように言う。</td> </tr> <tr> <td>④ 提案理由の確認</td> <td>提案者</td> <td>50秒</td> <td>ていねいに言ってもらう。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 提案者への質問</td> <td>司会</td> <td>1分</td> <td>あったら聞く。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 話し合う内容・順序の確認</td> <td>副司会</td> <td>1分</td> <td>黑板を見ながら確認する。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 話し合いのめあての確認</td> <td>司会</td> <td>40秒</td> <td>優しい気持ちで反応しよう。</td> </tr> </table>	第3回 5年2組 学級会 9月14日(水)				議題	クラスの出し物を考えよう。			提案理由 (提案者)	クラスがもっと一致団結できるように。()			司会	・司会をする。			副司会	・司会を助ける。 ・進行状況をチェックする。			黑板書記	・黑板に記録する。 ・決まったことの色分け。			ノート書記	・板書事項をノートする。 ・決まったことを発表する。			話し合いの流れ	担当者	時間	気をつけること	① 始めの言葉	司会	10秒	かまないで、はっきりはきはき言う。	② 歌・ゲーム		5分	UFOゲーム	③ 議題の確認	司会	20秒	考えるように言う。	④ 提案理由の確認	提案者	50秒	ていねいに言ってもらう。	⑤ 提案者への質問	司会	1分	あったら聞く。	⑥ 話し合う内容・順序の確認	副司会	1分	黑板を見ながら確認する。	⑦ 話し合いのめあての確認	司会	40秒	優しい気持ちで反応しよう。
ぎだい	ハッピーパーティーをしよう。 11月20日(金) 2時間目																																																																																																																																							
ていあんりゆう	12月に、みんなと楽しい思い出をつくりたいと思ったから	ていあんしゃ	さん																																																																																																																																					
やくわりぶんとん	し会	こくばん記ろく	ノート記ろく																																																																																																																																					
	さん	さん	さん																																																																																																																																					
きまつていること	日じ : 12月4日 ばしょ: 教室 かつどうの数: 3つ (みんなのできること)																																																																																																																																							
はなしあいの	じゅんじよ	気をつけること																																																																																																																																						
1	はじめのことば	・いろいろな人がはっぴょうできるようにする。																																																																																																																																						
2	やくわりしようかい																																																																																																																																							
3	ぎだいのかくにん	・いけんが出ないときは																																																																																																																																						
4	ていあんりゆうのはっぴょう	けいかくいんの人																																																																																																																																						
5	はなしあい	はっぴょうする。																																																																																																																																						
	はしら① (20分)																																																																																																																																							
	みんなが楽しめるために、何をするか。																																																																																																																																							
	はしら② (15分)																																																																																																																																							
	どんなかかりがいるか。																																																																																																																																							
6	きまつたことのはっぴょう																																																																																																																																							
7	はなしあいのふりかえり																																																																																																																																							
8	先生のはなし																																																																																																																																							
9	おわりのことば																																																																																																																																							
第3回 5年2組 学級会 9月14日(水)																																																																																																																																								
議題	クラスの出し物を考えよう。																																																																																																																																							
提案理由 (提案者)	クラスがもっと一致団結できるように。()																																																																																																																																							
司会	・司会をする。																																																																																																																																							
副司会	・司会を助ける。 ・進行状況をチェックする。																																																																																																																																							
黑板書記	・黑板に記録する。 ・決まったことの色分け。																																																																																																																																							
ノート書記	・板書事項をノートする。 ・決まったことを発表する。																																																																																																																																							
話し合いの流れ	担当者	時間	気をつけること																																																																																																																																					
① 始めの言葉	司会	10秒	かまないで、はっきりはきはき言う。																																																																																																																																					
② 歌・ゲーム		5分	UFOゲーム																																																																																																																																					
③ 議題の確認	司会	20秒	考えるように言う。																																																																																																																																					
④ 提案理由の確認	提案者	50秒	ていねいに言ってもらう。																																																																																																																																					
⑤ 提案者への質問	司会	1分	あったら聞く。																																																																																																																																					
⑥ 話し合う内容・順序の確認	副司会	1分	黑板を見ながら確認する。																																																																																																																																					
⑦ 話し合いのめあての確認	司会	40秒	優しい気持ちで反応しよう。																																																																																																																																					

【参照】

- 「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 (小学校編) (リフレット H30.7・指導資料 H30.12)」国研
- 「学級・学校文化を創る特別活動 (中学校編)」(リフレット H26.6・指導資料 H28.3) 国研
- [芳賀教育事務所 芳賀の教育 HP 版 Q&A 集 特別活動 平成23年度 Q&A より]
- 「Q4 『学級活動の1単位時間の指導計画(学習指導案)を作成する際に、どのようなことに留意すればよいか。』」
- 「Q5 『学級活動(2)に社会的スキルを身に付ける活動を取り入れる際に、どのようなことに留意すればよいか。』」
- 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校・中学校 特別活動 R2.6)』国研
- 「新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料(小学校 R2.7・中学校 R3.1)」県教委